

たさうな机とのコラシであつた。そして  
て何をしてこれに對してその計画を  
案配するか或は実現するかさうな  
案配もなし見られたい印象を相互  
に与へたといふことがいふ所には考  
へる所であつた。さういふ所では  
これは寧ろその地域だけの問題で  
はなしにして全市にわたる問題だ  
と思つておりました。さうして、おれらの  
問題が場内に於ては外の地域  
にも波及する大きな弊害を爲して  
おりました。これに對して寧ろその地  
域だけの問題だといふ所には考  
へておりました。これに於ては色  
んな問題が外にも起ることを  
おそれる所が予想されるのであ  
る。これに對してお伺いします。

市 長  
お察しなす。この問題を考  
へておりました。前に都市計画の道  
路を策定してから問題にわたる場  
があつたのでございまして、さういふ意  
味は私にはわかつておりました。さういふ意  
味で考へてこの問題に對しては  
しるの不便があるからと  
思ひます。既にさういふ道路  
は存在してしまつていふ所がある  
のでございまして、これを私達は  
おためて、或







[illegible]



蓋し吾等が、神意に不利なることを  
 為さざることを望むことは、例え自身の大  
 救済のためであるとしても、大義名分  
 の下に、見過しがたきものとして犠牲  
 をしなくてはならぬことは、しるべきであ  
 るべきである。おれらに神意があるとい  
 う事柄は、おれらに知られておられると思  
 います。然るに、実現する可能性が、おれらに  
 知られていないことが、この世に生  
 ずる身業に於いて、おれらに知られて  
 いないことは、申すところである。しかし、おれ  
 らの地域の人達を、納得させる、或  
 は、働きを求めさせるには、おれら  
 の神意の現時点における、おれ  
 らの、大體、何事、或は、拘束さ  
 れる、不可能であるといふことが、おれ  
 らの、神意の、構想は、おれらに知られて  
 いるが、おれらに知られていない、おれ  
 らの、神意である。

部 卷

おのれをこりおれはあつた預り  
のものがあつたおれはあつた預り  
のものが、おれはあつたおれはあつた  
道路におれはあつた。政府としておれは  
おれはあつたおれはあつた。おれはあつた  
おれはあつたおれはあつた。おれはあつた  
おれはあつたおれはあつた。おれはあつた  
おれはあつたおれはあつた。おれはあつた











11 番

1から12から市長が今進めてゐる合併計画という計画は当然実現するために着々と今作業を進めてゐるはずであります。そうすれば当然この人達のこの合見の中味をですね合併協力して、こういう計画もあるんだというふうなことをですね、十分説明してあげることによって、こういうふうな問題は出て来ないというふうな考えをいたしますか。どうですか。これは実現、勿論、実現するしるいかはこれは大抵とて、市長が努力したに依る場合によって、実現するかも知れませんが、或いは財源難で計画されても、或いは実現不可能になるかも知れませんが、現時点で計画の中に入ってゐるという事は、はっきりしてあります。そうすれば、そういう十分市長が説明すれば、或いはその人達の考え方も変わりますように。又、十分納得がいったはずであります。或いは場合によっては、その納得によって、こういうふうな際情も出て来たかも知れません。この辺についてはあまりにもこの理由の中から見ただけの場合に限り、当局の誠意がね、というように我々は見てゐる訳でありますか。どうな人も、人ですか。



市岳

現段階に於いては、予算の見通しが  
ないうで、さういふことを申し上げた款  
であります。

11番

1か1. ちやんと計画の中に入っており  
ませんか。5年次の計画の中に、1かも  
それは、その予算の裏付も資金の裏付  
もちやんとされて、この計画案の中に  
盛りこんであるはずであります。それを  
実現できるでなはれは刮と一応  
はそういう目途に向つて着々と合併  
計画並みにそういう計画がなされて  
つあると、このことは十分御承知であ  
るはずであります。しかも物らず要をつか  
るような、しかもその人達から誠意が  
ないような印象をうけると、このことは  
これは私はどうかと思つてますか。

布 县

陳情者はあくまでも2、3年に目途があるかと"3"ことを非常に主張されて"ます"。

卷八

関連「たしまた都市計画の一部を  
修正する変更する場合に市に  
は、市としてはどうにもならぬ。」市の権



限ではなから政府に行きなさいと  
うふうなことを話したことがありますか。

### 助 役

今の問題について私の方から説明申  
し上げたと思えます。今お答え申  
し上げた中には、この問題がなぜそ  
ういうふうになつてゐるのか、建築規制  
はどういうふうになつてゐるのかを含めま  
してで可ぬ。

### 11 番

ちょっと待って下さい。私はね、市長  
に対してです。政府に行きなさい  
ということを言ったことがあるかというこ  
とを。

### 助 役

だからこれはで可ぬ。こういうことは、この  
件にかかわらず、色々あると思ひます  
ので、まず一応この現在この問題、  
都市計画についてで可ぬ。現情とい  
いますか。悩みと申しますか、そういうの  
を一応、これは休憩でもおとしゆうご  
ざいますか。説明申し上げたいと思ひ  
ます。この陳情に対する皆さん方の態  
度を御決定なされる場合の参考に  
なるかと思ひますので可ぬ。この件ちょ  
っと、御説明申し上げたいと思ひます。



が、よろしゅうございますか。

11 番

ですから私の質問を17から後で十分説明さうかがいましょう。市長どうとあるかどうかを聞いておきます。

市長

私からは言っておれませんから。

都計課長

今の問題は相手側から電話がございました。市でどうにもならなければ政府行っても差しつかえなにかどうか。この電話がございました。別にこれは差しつかえなと私は申し上げました。それだけの問題です。

11 番

政府としては、それに対して政府の問題ではなくして、あくまでも市の問題であるというふうなことでこの人はかえされて来ております。なんらそこに寄りつく断もなく、またにかえされてきております。そうすると、どつちに行っても心ゆく、納得ゆくまで相談してくれぬという不満がはっきり現われております。それで帰って来て一応は市長と相談した。と思っておりますが、これに對



17. どう考えますが、あくまでもこの問題は市の問題ではなくして、政府の問題だと「うふうにかたす」けて「」ものか、どうか。

### 助 役

説明申し上げます。さういふことが結局、今までたしかに、さういふ苦情をきいてありますので、なぜさういふふうになるのか。政府に行けば政府は解らん。市町村が1か解らんと、又市はこれは政府の権限であって、我々では話してきな「と」うような色々その曖昧なところがあつて来る原因はなぜかというところを我々も非常に今まで苦慮しまして、色々検討した訳であります。さういふことをまず一応、今まで調べた範囲内で申し上げますと、都市計画、都市計画事業、それから毎年実施するところの都市計画事業は都市審議会の意見を聞いて行政主席が認可するというのが都市計画法の3条にござります。と「うことは、この長野県市の都市計画は、これによって、行政主席が認可したというふうな立場を政府はとってあると思うんです。1か都市計画法にのさしては、都市計画、その他の事業の認可申請という条文は一つもござりません。さういふ手続きは、全然、こ



ざいせん。法によつて、それでは、市が、都市  
 計画事業計画して、これを認可申請  
 するといふ手続きかな。以上は認可と  
 いうことがありうまかどうか、非常に疑  
 問であります。それで、事実、都市計画  
 をどのようになされてゐるかといふことと  
 都市計画審議会に諮つて、都市計画  
 や都市計画事業等を政府は決定  
 されてゐると思ふますが、都市計画審議会  
 は、都市計画等について、行政主席の諮  
 問に依する。それから都市計画につ  
 いて、権限を有するといふ権限、かござい  
 ません。現在の都市計画審議会に  
 あつては、議案として、提出されてありま  
 して、意思決定機関というような取り  
 扱ひで、実際は運営されてあります。  
 これから申しましても、実際問題として  
 は、都市計画の決定は、行政主席がな  
 されてゐるんじゃないかといふのが、我々  
 が受けてゐる実感であります。それから  
 言つて、修正するにしても、これは政府の  
 権限ではないかといふ疑問があるの  
 は、そこにある訣であります。しかし都市  
 計画法に於ける3条には、認可し  
 といふ条文があるために、又、市町村か  
 ら申請があつて、認可されたといふふう  
 に解釈をされてゐるんじゃないかと思  
 います。そこで、この問題は、さういふ市  
 の責任だとか、或いは政府の責任だ



が、このような色々の疑問は出て来ると  
私は考えております。こういふことをなせ  
申し上げるかと。今度改正されま  
した都市計画法には、ちゃんとそういふ  
申請手続きが条文にうたわれてありま  
す。そして都市計画の計画者も政府と  
市町村の計画する分野もはっきり明  
定されております。これから申し上げま  
しては、これは明かに今の現段階に  
あっては、市町村にそういふ権限はない  
んでないかと。この証明されるんじ  
やないかと。こう考える誤であります。この  
今あることあります。建築の規制の問  
題でござりますが、これは建築基準  
法の40条によりまして、都市計画として  
決定して、行政主席の認可をうけた計  
画道路内にあっては、次の各号に該  
当する建築物が容易に移転し又は  
除却することができるものでなければ  
建築してはならぬと。その条件には、  
二階以下であること。そして地下がない  
こと。それから主要構造部が鉄骨造  
コンクリートブロック造。その他これに類  
するものと。これによっていわれるこの人  
は、そこに建築したために建築の確認  
申請をうけるために手続きをとる  
誤でありますか。その手続きは、主席に  
対して建築の確認申請をする誤で  
あります。市にあっては、その文書は建



築基準法の施行細則の第二系によ  
りまして、関係市町村を経由すると  
いうことによりまして、市を経由する文書  
になる訳でありますか、その場合にその  
経由の段階に於いて、市の方がその建  
築場所は「いわゆるその計画道路の中  
に於いて」といふことを調べるため  
に「かかる市町村が市が建築の諸  
認可や、取締りをしてゐるよう」市民  
からは、実感として「さういふふう」受け  
取つてゐるかと思ひます。さういふこと  
は、「いわゆるこれは、市を経由するといふ  
ような条件でございまして、その建築を  
許可か、許さんかは、これはもつぱら行  
政主席の権限でございまして、この申  
請「いわゆる認可手続きを取るための  
一つの経路、通過、市としての権限でござ  
いまして、市民からは市が全部建  
築を取締つてゐるんだ」といふような実  
感をうけられる訳でありますので、さう  
四か、問題のポイントになるんじゃない  
かと考へる訳であります。以上大体  
市の今までの建築に対する権限と  
か、或いは都市計画がどのような経  
過でなされるのかといふことを一応  
御説明申し上げた訳でありますか、  
又この陳情書の中には、この都市計画  
は、いつて「きつて」解らんといふふうなこ  
と、に於いて、私がさういふ、内容の発言



をしたことありましたので、一う申し上げておきます。都市計画の新法が今立法されるようとしておるので、その立法の中には、都市課長の前もつての話しでは、用地をさきかえしなけれは"かな"と"う"条文があるんだと"う"ことを用いておりましたので、私はその条文はこの別に参考資料見てのあれいやなくして、そうすると今都市計画されて"あるのは、全部買上げしなけれは"かな"と"う"ことになると到底不可能である"う"ような内容のことを私は申し上げておきます。それからそう"う"推定、そう"う"ふうな考へ方になった一因かも知れませんが、この臭だけを申し添えておきます。以上であります。

#### 11 番

只今の説明の中であくまでも建築許可は許認可は、政府にあるんだと市は単なる施行規則の規定に基いてただ經由をする"う"ふうな単なる橋わたしだ"う"ことであるが、一体、いやその"う"ふうな義務を市は権利がござい"う"ますか。

#### 助 役

だから条文上はただ市を經由する"う"ふうになつてお"う"りますけれども、これは私



も非常に内容を十分解りませんけれども、副申書というふうになっております。実際發送番号も正式にうたわれて、すね、副申書というふうになっておりますので、その様式等も別に法令に規定されたのかありませんので、どういう方法で、どういうのが制定されたのか、関係の職員にも色々聞いたりしておりますけれども、慣例だと、前からそうして、よから理由はわからず、人というふうな状態でございまして、それから見ると、その道路敷地内にその建物が入るのか、入らなうのかを、建築主事が、その現場を見ることか、で、きなうで、市町村でそれだけ協力してもらったというふうな内容で、なうかと私は推察しております。

### 11 番

これは、すね、今の説明の発言は基本的な問題にふれると思ふが、一体市は、いや、今の助役の説明では何年根拠か、なうと。

### 助 役

「や、市町村を經由しなければならぬ」という文章はあります。

### 11 番

經由、という、とは、その經由の根拠



ですね、どういふふうなことをやれば……か  
その辺を明記されな……ままだに経由  
して……人だと、そうなることによつて政  
府の許認可に及ぶ重大な意義をもつ  
場合がある訳であります。これに左右され  
ます。決定認可の場合に、そうすると、それ  
は、今助役が考えているように、単なる経由  
だと、その内容も十分に解らな……ままだに、  
ただやっただけの人だ……というふうなことになる  
とですね、これは、大変な問題になります  
か。

#### 助役

だから私もその点非常に心配……たしもし  
て、何故そうなるのか、関係条文にある人  
だが、何故そうなったのかと色々聞……ても  
ですね、実際担当者もよく解らな……という  
ことでありましてですね、そして他の市町  
村もそのようになつてゐるんだ……ということ  
でありまして、それから押し進めても、多分行  
政指導として、そのような内容を文書の  
……いわゆる形式等を政府から一応指導し  
てやっただけの人じゃな……かなと一応推定  
して……訳でありますか。

#### 11 番

助役、これはですね、何人の利害関係を  
ですね、左右する大きな問題であります。  
そこで、今また、このような曖昧な形で、ですね、



副申さつておられるとか、というようなことじやなくて、はっきりその規定が經由を要するということ規定があるならば、その根拠になることを十分政府の方にも確かめておらして下さい。

### 助 役

いや、經由するということには疑問はな...  
誤です。だから經由ということとは、当然、発  
送番号がうたれるのを經由になると思...  
ますが、副申ということとは、内容は：これは  
は、都計の計画の道路に支障がある...と  
かというような内容の副申になっておしま  
す。

### 11 番

それは解りました。ですからはっきりした  
ですね。そういう副申の内容もですね。ほ  
んとにこういつたことでいいかどうかもです  
ね。これは市として責任がもてる。もてない  
というようなことをですね。はっきり私は政  
府の権限に属する問題ならばですね。あ  
くまでもですね。それは政府にゆだねると  
いうことであるし、或いは市の都計画に  
抵触するからという市としてこの問題  
に對しては、ある程度の規則、或いはこ  
れに對する、この関知しなかりやならん人  
ということであればですね。はっきりした線  
を打ち出して、私はやってもいいかと思  
います。



助 役

それは一応 政府にも向「合せさせたい」  
 と思います。それからちょっとつき加えて  
 申し上げますが、この新都市計画法  
 の内容も一応資料を取って見てあり  
 ますけれどもその中には、都市計画は市  
 町村がやる分野と政府がやる分野  
 があります。そして今後この都市計画  
 をする場合に、この中に関係地主にこの  
 縦覧をしまして、そして異議がある場合  
 には、異議申し立て、意見書を提出するよ  
 うな条文になっております。それから見ると  
 都市計画をする場合には、十分関係住  
 民の意見を縦覧にして、意見をきかなけ  
 りやいかんということになっておりますが、そ  
 れでこの現在の都市計画法が、この新法  
 にどのように移行するかの問題については  
 ですね、この立法にあっては、経過措置に  
 関する立法を又、するということになってあ  
 ります。そして適用も新都市計画法の適用  
 も何年度から実施するということもなく、こ  
 れは又、適用については別に立法するとい  
 うふうになっておまして、それでこの新都市  
 計法が施行される見通しがあるならば  
 ですね、こういう建築関係の色々な問題  
 についても将来の用地購入の基金等も  
 設けられるようになっておりますので、そういう  
 ことが、十分目途が立てば、市の方面は  
 何年度にこの用地は、買「上」げるといふよ



うは色々計画も立案できると非常に期待してあった訳でありますか。またそこで進んで行っておりません。前に試算したことがございしますが、現在認可されている都市計画事業のその実施するためには、これを全部じゃないんですが、区画整理も入ってあったと思います。大体1,500～1,600万ドル位にかかるといふような概算を都計の方が出した。一辺位、前に出してありました。それでこれは物価も現在の通りであるといふような想定でありますので、これを仮りに毎年の年度の予算にのせてやった場合に大体どの位にかかるといって試算した訳ですが、大体30年位かかるという計算になった訳であります。そういふことから申し上げるとこれは今の都市計画の敷地をです。住民がいつやるか解らんので制限されるといふ悩みも解らん訳じゃない。それを解決するためには、いや計画をなくするかという問題になりますし、もし将来の直野湾市を考えた場合にそういふ計画を全部ぶっ壊さないとはいいかどうかと、こういふ二つ相反する問題がありますので、そこら辺の兼ね合いが問題じゃないかと考えてある訳であります。以上つき加えて申し上げます。

11 番

生きた都市計画、今天説明があったよう



にいつできるか、実現もできないような計画であつては、どうも」と私は思います。しかしながら、この計画した時と現時とでは事情もだいぶ変わつてゐるし、或いは又この計画そのものが、その地域にそぐわぬ計画もそのまゝの形で私は、あるものもあるんじゃないかと、このふうにも考えてあります。従つて生きた計画、実現可能な計画に変更しても私は決して基本線は崩れぬ、とこのふうに見てあります。むしろそれがほんとにたえず流動期、或いは激動期に備へた所の私は生きた都市計画に私は修正しても別にさしつかへないんじゃないかとこのふうにも考えてありますが、もしこの地域にそぐわぬ、今のパープランであるとするならば、市長としてはこの地域にそぐふような計画に変更することも考えられますか。

市長

お答えいたします。変更した場合はその変更されたところの地主、そういう人達の承諾があればできると思います。

11番

地域の承諾、地主の承諾があれば、可能だ、ということですね。  
はい、解りました。



### う 番

先程の助役の説明を聞いて、そうやって「  
30かな」というふうに感じましたか。都計  
に關するそのような変更申請が仮りに出  
された場合、これに対する「ゆるぎ決定認  
可権は政府にあるのか、市町村にあるの  
か」という問題でありますか。先程の説明  
では、現行法では政府にある、行政主席  
にあると「うふう」にそのように私は受け  
取ったんであか。

### 助 役

その方に今、見解が分かれるところ  
でございまして、政府の解釈からすると、  
都市計画法の第3条によつて認可  
するという条文~~は~~がございまして、  
多分認可したと「うふう」に考えておる人じ  
やないかと、申請を認可したと「うふう」に  
考えておる人じやないかと思ひます。

しかし都市計画法には、何の申請という  
条文は一つもございません。そして都市  
計画審議會は諮問機関でありますけ  
れども、そういう都市計画なんかの認可の  
場合、議案として意思決定機関にされ  
ております。これは事実、そこに議案がござ  
いますので、それから見ると都計審議會  
は意思決定機関として活用されて、政  
府が決定してある人じやないかと我々は  
考えておる、と「うふう」の意味でござい  
ます。



3番

都計審議会が審議される問題は議案として取り扱われていながらそこでどういふことは、これは別に問題にならぬと思う人です。その議案として取り扱っていかどうかは、形式的にそうしてあるかも知れりません。法制上、都計審議会がどういふ格付けをされていのか問題があります。問題はこのような陳情第3号に示されていような問題が発生した場合、現に発生してゐます。つまり市にあっては、決定は市にある。そこで陳情書に就いては、市の説明であり政府の関係当局に行ったら、いや、これは違ふあくまで市町村と当事者の問題である。そう云われたとなつてあります。この陳情者が云つてゐるのは、つまり政府関係者がどういふたのが確かであるならば、政府はこのような決定権は市町村にあると解釈してゐると受け取つてよろしいですか。

即 答

そういふふうに解釈されてゐると思つて可い。

3番

そこで問題は陳情書には、このようにあります。当局に対しては何等かの陳情書がありますか。この文面から、おしよると



口頭による申し入れはなされてあります。  
議会に届けられてくるようなこのような陳  
情、同一内容になっても結構であります。  
趣旨が同じもの、陳情、現在提出され  
てないか。

助 役

同文のものが出てあります。

3 番

同文のものが出てありますか。出ていなくてあ  
れば、政府がそのようなことを云ったかど  
うか。確かめたために政府主管当局に照会  
したことがありますか。同様に合されたこと  
がありますか。

助 役

ちょっと都計課長に聞いたら

都計課長

お答えいたします。今の直野湾市と教団  
の問題は、市で

3 番

都計課長 あつたのか。

都計課長

はい、ござります。

.....



3番

どういう返事だったんですか。

都計課長

これは6月18日に係職員から電話で照会してありますが、あの当時は都計課の上京という職員でござります。あの場合に話したのは。

3番

あの、都計課長 陳情書に書いてあるようにです。政府にそのことを聞いたら、政府の方ではあくまでも直野澤市と教会の問題であり市と話し合いを進めて解決すべきである旨、回答した。こうなっております。そこでこれを確かめるために政府の係官に問い合わせたことがありますがという私の質問です。

都計課長

ござります。

3番

先ずあるかないかを答弁して下さい。

都計課長

ござります。



3番

あま、それと向い合せたところかような返答が得られましたか。

都計課長

向うの回答では、市に於いては解決するということはおそらく困難であるだろうと更に一応穏便に話し合いました。解決する以外になんじやないかとそういふことを自分を考えていふことを云うたということですね。

3番

市としては難しい問題ではあまが、話し合ふによつていか解決はできなかっただろうと云うようなことを云ったという返事ですか。

都計課長

その解釈で自分は云ったということですね。

3番

そこでこの政府からの返事をもとに再びこの陳情書に対して、この問題に対する取扱期間、決定権をもつていふなど機関の説明をするために連絡をもつたことはあります。



都計課長

一応 あらためていこうと思いましたが、又更に電話もやった人ですが、向うも政府に於いても議会中でどうにも今話しもならんから、次回に回わしてくれと、或いはその日にうかがければ、自分から連絡とつてもいいというふうな曖昧な話しがあった訳です。

3番

それとこの陳情書に掲げられてある通りあくまでも市の問題であるから市と話し合を進めて解決すべきであるということを出したかどうかは、現時点に於いては、まだはっきりどうということはいえない訳ですね。陳情書の通りであるのかそれともでないのか、はっきり解らる訳ですね。

都計課長

ですからできるだけ簡便に説明してもらいたいということへの向うの理解です。

3番

政府ではですね、それではそういう返事では、そういうことを出たかどうかの向うに対して返答になりませんが、貴方がたは、出たかどうかを確かめるためには、そのような曖昧な返事じゃなくて、自



分が知りたい」ところ聞くまでは追及してまでも相手の係官に問う質すべきだと思えますか。どうですか。既に問題は発生してまいりますから。

### 都計課長

その件で一応都計課長も含まれた訳な人ですか。都計課長としても。

### 3番

それとも議会で参事人として政府の都計課長を紹介しますか。ここ、場合によつては必要かも知れません。参事人として、こういうふうな貴方が云ったというふうな陳情書は出ますか。云ったかどうか確かめるためにですね。ここに呼ばなくてやらないかも知れません。

### 都計課長

これは係官ですがね。課長じゃなくて係官です。

### 3番

係官 係官というのは、兵隊のことばでいうば、どういう地位ですか。係長ですか。それとももっと下の。

### 都計課長

法制職ですから、この都計法に関する職



負い兼ねかと考えております。

3番

例えは、そう云ったふうは利害関係問題について、政府に伺いをかけている。この伺いに対して、政府は自信をもって説明する義務がある筈です。そこでその説明に当たった人は、責任ある地位の人であったかどうか、例えは「予備員」であったとか、この辺は解りませんが、名前も解りませんか。

都計課長

名前は解ります。

3番

解りますか、何という公務員ですか。

都計課長

都計課のイノマエという人です。

3番

イノマエ、大猫の犬、これは相当な地位にありますか。

都計課長

よくそれまでは解りませんが、何か法関係の職員い兼ねかと思っております。



3番

私がそれを教えて、お聞きしてありますのは、人間は間違った指導、或いは間違った話しを聞いたために、これをお咎めとして、そして間違った行動は取られることがあります。間違った行動というものは、もし行き過ぎでありまかならば誤解による行動、そこでもし政府がそのようなことを仮りにいつたならば、問題は、その辺から決して流さなくちゃならぬはずであります。ですからこの問題はそういうところも確かめなければいけません。だからこの直野渡希にありましては、主管当局は、結局、都計課の貴方でありまうが、この陳情書に於いては政府とわらましていながら、貴方がたは、政府がそのようなことを言ったかどうかは、事件を議会に提出してあるからには、確かめなければいけません。今、質疑応答から察する限り、その辺に誠意をもって資料を準備したということは、どうしても受け取れません。どうですか、本来この問題は議会で持つてこなくて、執行部ですべてお返しすべき性質のもので、何も拘らず議会で焼くからには、必要なことを聞かれた場合には、即座にこれを以てこの通りでありますというふうに説明する。だから誠意があつて、しるべきだと思



いますか。どうか。

都計課長

これは、再々説明はやったつもりでありますか。

3番

私が聞いているのは、政府の係官がこういうことを云ったということとを陳情書の中にしたためてあります。そこでそのことを云ったかどうか、はっきり例えは口頭でやるとか、電話でやるとか、そうもったようなことはせんで、問題になつてくる問題であるか否か書面による問合せが必要じゃないかと思ひます。口頭でやったり電話で問合せした場合には、後になつて都合が悪く感じた場合には、いや、私はそういうことはいいませんで、たゞ、というふうに逃げざる解りません。従ひまして、そのために備へるためにも書面でこのような問題は準備しておいた方が好い。今のこの問題に關する貴方の説明を聞いた範囲内では、政府の係官がそのようなことを云つたのか、云わなかつたのか、まだ漠然としてつかみようがありません。一応はつかみようかなければ、それ以上質問も進めざるべきで、質問を打ち切り、ま、可。



お番

先程ご説明によつて、市は単なる經由するだけだと認可の方は政府の方がしてあると「うのようなご説明でございますか、当然認可の方は政府だと思えます。しかしながら宜野湾市の計画はあくまでも宜野湾建設のために、そして宜野湾市民のために上に立つて計画をされたければならぬと誤でございます。そのためには、その政治をある当局は当然その計画に沿うたような建築がなされていくかどうか、そういうことも十分指導助言、そして監督する立場にある人じやないかと「ううふうに考えてあります。しかしながら先程の説明によりますと、市は単なる經由だけ法律から見た場合には、何の権限もないんだと「うのような答弁でございます。そして、万一「ううた予心得なものが出来たとしても市としては、そのような考え方は、それを「ゆめやめさせるとか、そういうような権限がないんだと「うのような感じを受けた誤でございます。それに対して、今まで都計道路の上に市を経過してですね、直接政府だけで認可を得て、市側から「ううならば、市が都計道路の上に建築をなされたやつ、件数な人がありますか、市の副申を得て、して、自ら政府に行つて、



都計課長

お答えいたします。ございませう。

8番

これは、あつてはなるな」と思ふ。そこで法律的からするならば、ただ市の方は副申をつけますだけで、その権限はなにかも知れませんが、しかし市政を担当する上からした場合に、その都計に対して好ましい建築でなるといふような立場になつた場合に、もしそういつたような心得ものがあつた場合には、十分取り締まる意思は持つておられますか。

都計課長

現在 やつております。

10番

建築設計士がですね、建築を依頼された場合、建築設計をする前に都計課に伺つておるかどうか。

都計課長

はい。これは、実際建築士法から都計のあり方について、一応その図面肉見一応調査の上で、ほんとは設計しなくちゃいかならうと。それは承てあります。



心番

来ておりますか。

議長

休憩いたします（正午12時30分）

再開いたします（〃 12時40分）

陳情第3号 都市計画の一部修正につ  
きましては、建設常任委員会に付託を  
いたしましたと思っております。御異議ございませ  
んか。

（異議なしと呼ぶ）

議長

御異議ありませんので、建設常任委員会に  
付託をいたします。尚、審査方法は閉会  
中にやって頂きまして、次の議会までにご  
報告を願うと思っております。

議長

次は日程の第3選挙第2号 宜野湾市  
選挙管理委員会委員及び補充員の選  
挙についてを議題といたします。

議長

休憩いたします（正午12時44分）

再開いたします（〃 12時44分）

日程第3、これより宜野湾市選挙管理委員  
会の委員の選挙を行ないます。



議長

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、市町村自治法第52条第2項の規定により指名推せんにより行なうたと思っております。これに御異議ありませんか。

(異議なしと呼ぶ)

議長

御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は、指名選挙によることに決しました。

議長

お諮りいたします。指名の方法については、議長に於いて指名することに決したと思っております。これに御異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ)

議長

御異議なしと認めます。よって議長に於いて指名することに決しました。

議長

宜野湾市選挙管理委員会委員に伊佐川清次君、長堂昌輝君、伊佐真得君、酒井正吉君、瑞々寛朝真君を指名いたします。



議長

お諮りいたします。今議長に於いて指名した。伊佐川清次君、長堂昌輝君、伊佐真得君、酒井正吉君、瑞々寛朝真君を当選人と定めることに御異議ございませんか。

議長

御異議なしと認めます。よって今指名した。伊佐川清次君、長堂昌輝君、伊佐真得君、酒井正吉君、瑞々寛朝真君が直野湾市選挙管理委員会委員に当選されました。

議長

引き続きこれより直野湾市選挙管理委員会補充員の選挙を行います。

議長

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、市町村自治法第58条第1項の規定により指名推せんで行なうたと思います。これに御異議ありませんか。

議長

御異議なしと認めます。よって選挙の方法は指名推せんによることに決しました。



議長

お諮りいたします。指名の方法については、議長に就いて指名することにしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

議長

御異議なしと認めます。よって議長に就いて指名することに決しました。

議長

宜野湾市選挙管理委員会補充員に石川幸栄君、仲松弥栄君、末吉健男君、宮城広一君、宮里健輝君を指名いたします。

議長

お諮りいたします。只今議長に就いて指名いたしました。石川幸栄君、仲松弥栄君、末吉健男君、宮城広一君、宮里健輝君を当選人と定めることに御異議ございませんか。

議長

御異議なしと認めます。よって只今指名いたしました。石川幸栄君、仲松弥栄君、末吉健男君、宮城広一君、宮里健輝君が宜野湾市選挙管理委員会補充員に当選されました。以上を以て本



定例会の議事が全部処理をいたしました。  
した。お諮りしたと思います。会期  
は明7月3日までとなつてありますが、全日  
程が終了したてありますので、本日も  
うまい。会期をうち切りたいと思つて  
か、御異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ)

議長

御異議ありませんので、会期を打ち  
切ることに決定をいたしました。

議長

第77回直野津市議会定例会は本日  
をもって閉会することになります。長  
時間にわたりまして、慎重な審議を願  
い大変ありがとうございました。これを  
つて、閉会いたします。


(正午12時48分)



上記会議録の次第は、書記が記載したものであるが  
その内容の正確であることを証するためここに署名  
する。

1970年11月30日

宜野湾市議会議長 古波蔵 清太郎

議事録署名議員 棚原 憲信 

議事録署名議員 崎間 正尊 